



作品名 「税金の使い道」

八尾市立曙川南中学校 三年 高本 愛梨

私の兄が交通事故にあいました。救急車で運べる近くの病院では対処できないほどの重傷な状態で、一分一秒をあらそう状況だったため、ドクターヘリが出動しました。そのおかげで兄は無事、一命を取り止めることができました。

しかし、兄が運ばれたことで、救急車やドクターヘリの費用を請求されることはありませんでした。そこでふと私は疑問に思いました。

「なぜお金がかからなかったのだろうか？」私は調べることにしました。

日本では救急車やドクターヘリの出動費用は税金から出ていることが分かりました。救急車が一回出動するのに四万五千円、ドクターヘリにいたっては一回約十二万円も税金から出ているのです。でも外国では救急車を呼ぶには自己負担だそうです。日本では病院にいても自己負担は少なく済み、それを私たちは当然のように感じています。でも、中には救急車をタクシーがわりに利用したり、軽症なのに呼んだりする人がいます。そのために多くの税金が使われているので、救急車の利用に自己負担を求める声があるそうです。でも、私は兄のように一分一秒をあらそう時に、救急車やドクターヘリをためらいなく利用できるのが大切だと思います。みんなもどのように税金が使われているかよく考えて、行動すべきだと思います。

他にも、私たちが出しているゴミの処理費用、犯罪を防ぐ警察費、道路の整備や信号機の設置、学校、公園、図書館などの公共施設の設立、下水をきれいな水に戻し私たちが毎日使うことのできる水道水をつくる浄水場、公共の施設で働く人のお給料、私たちが普段公立学校で使っている教科書なども全て税金が使われています。

もし、このような公的サービスがなかったとしたら私たちの生活はとても困まるのではないのでしょうか。

私は、必要な時にサービスや社会制度を、利用できる社会であるために、納税の意味があるのだと思います。

最近、テレビやネットで秋から10%に消費税があがると聞きます。

「なぜ10%にあがるのだろうか。」

と、思っていました。今回税について調べていて中学生の私も、納税することで社会に参加していることに気づきました。私も将来、社会に貢献できる納税と税金の使い方をしたいと思います。

